

# 令和2年度 当初予算主要事業要求資料



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 稼ぐ力強化のための海外展開支援事業

## 1 事業の趣旨

岡山市の強みである医療・福祉、食品、農機具関連産業等について、海外から稼いでくる力を持つ事業者を増やし、地域を牽引する中枢中核都市としてさらなる本市経済の強化に向け、関連産業事業者の海外展開を支援します。

## 2 事業内容

海外展開に必要な現地調査等必要経費を補助

- ・補助対象産業の拡充  
医療・福祉関連産業から他の業種へも拡充
- ・補助対象経費の拡充  
専門家によるコンサルティング経費等を追加

## 3 要求額

(1)歳出額	8,156 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	8,156 千円
(前年度当初予算額	5,000 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業政策課
担当者名	課長 板野 直孝
電 話	内線 4515
	直通 086-803-1342

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 IoT・AI等先端技術導入支援事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

市内中小企業の大きな課題である「人手不足」「労働生産性向上」に対応するため、IoT・AI・ロボット等先端技術を導入しようとする企業に対し支援を行い、市内企業への先端技術導入による労働生産性向上を促進します。

## 2 事業内容

### (1) 小規模事業者等への支援

- ・小規模製造事業者等へ専門家を派遣し、IT利活用による生産性向上を目指した個別支援を実施
- ・小規模製造業等IT利活用支援を活用した事業者が実際にITツール導入等を行う場合に、その経費の一部を補助

### (2) 地域未来牽引企業等中小企業への支援

- ・最も導入効果の高い先端技術を選ぶためのコンサルティングや事前検証に要する経費の一部を補助
- ・導入コンサルティングや事前検証を行った事業者が、選定した先端技術を実際に導入する経費の一部を補助

## 3 要求額

(1) 歳出額 17,758 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 17,758 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 企業立地推進事業

## 1 事業の趣旨

中四国の結節点、自然災害の少なさ等、本市の優位性を活かして企業誘致を促進し、地域経済の活性化と雇用創出につなげます。

## 2 事業内容

### (1) 企業誘致促進事業

製造工場等の立地企業に対する補助

### (2) 都市型サービス産業推進事業【拡充】

IT・デジタルコンテンツ産業等の立地企業に対する補助を追加

### (3) 企業誘致ターゲット拡充事業

本社、本社機能、中四国支店等広域的拠点の立地企業に対する補助

### (4) 再投資・拠点強化促進事業

- ・統合・集約による拠点強化及び機能強化を行う市内既存工場等に対する補助
- ・生産性向上・職場環境改善に必要な設備投資に対する補助

### (5) 物流施設誘致促進事業

物流施設の立地企業に対する補助

## 3 要求額

(1) 歳出額 491,622 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 491,622 千円

(前年度当初予算額 339,500 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業政策課
担当者名	企業立地推進担当課長 藤澤 明彦
電 話	内線 4516
	直通 086-803-1328

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 雇用対策等事業

## 1 事業の趣旨

市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。

## 2 事業内容

### (1) 新規学卒者等合同企業説明会

主に新規学卒者を対象とした市内中小企業等による合同企業説明会を開催

### (2) 学生と市内企業の若手社会人との交流

学生と市内企業で働く若手社員との交流会を開催

### (3) 保護者向け就活セミナー

保護者を対象として現在の学生の就職活動に関するセミナーを開催

### (4) 働き方改革推進・企業情報PR

企業の情報と働きやすい職場づくりに取り組む企業の記事をまとめた冊子を作成し、市内学生等に情報提供

### (5) 中高生向け合同職場体験イベント

中高生が市内中小企業等の仕事を体験できるイベントを開催

### (6) パートタイム・ショートタイム企業説明会

育児中などで短時間での勤務を希望する方を対象とした企業説明会を開催

### (7) 外国人雇用に関する企業向けセミナー

外国人雇用に関する企業向けセミナーを開催

## 3 要求額

(1) 歳出額 21,143 千円

### (2) 財源内訳

・その他 180 千円

・一般財源 20,963 千円

(前年度当初予算額 17,000 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部産業振興・雇用推進課
担当者名	課長 河田 雅博
電 話	内線 4520
	直通 086-803-1325

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり

## 1 事業の趣旨

まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、県庁通りの道路空間再編や官民連携による道路空間活用の検討、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組みます。

## 2 事業内容

### (1) 歩いて楽しい道路空間創出

県庁通りにおける歩道の拡幅、車道の1車線化、自転車走行空間の確保、道路空間活用のルールや組織づくりの検討、賑わいづくりに携わる民間事業者等の発掘・育成 等

### (2) 街路樹・公園樹木の質向上、ボリュームアップ

### (3) 旭川かわまちづくり

### (4) 西川魅力賑わい創出

## 3 要求額

(1) 歳出額 684,583 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 188,800 千円

・地方債 254,800 千円

・一般財源 240,983 千円

(前年度当初予算額 621,612 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課
担当者名	課長 兒子 憲人
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 路面電車の乗り入れを含めた岡山駅前広場整備事業

## 1 事業の趣旨

まちなかの魅力向上やにぎわい創出を図ることを目的に、回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化に資するよう、公共交通の利便性向上を進めます。

今後の高齢社会の進展を見据えると、公共交通の充実喫緊の課題であり、その中でも路面電車の岡山駅前広場への乗り入れは、市民はもとより来訪者の利便性向上や中心市街地での回遊性向上につながります。

## 2 事業内容

- (1) 駅前広場整備及び交差点改良に必要な用地買収、地下街補償算定、整備工事
- (2) 路面電車の軌道整備等に対する補助

## 3 要求額

(1) 歳出額 562,300 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 260,500 千円
- ・地方債 134,900 千円
- ・一般財源 166,900 千円

(前年度当初予算額 136,300 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 是友 修二
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市街地再開発事業の促進

## 1 事業の趣旨

近年、活発な市街地再生の動きがみられますが、依然として駐車場等の低・未利用地が多く分散しており、全体として土地の高度利用と都市機能の更新が進んでいません。このため市街地開発の一つの手法である市街地再開発事業による民間活力の後押しをすることで、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。

## 2 事業内容

(1) 市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対する、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金による支援

対象地区: 表町三丁目10番11番23番24番地区

対象地区: 野田屋町一丁目2番3番地区

対象地区: 駅前町一丁目2番3番4番地区

対象地区: 蕃山町1番地区

対象地区: 表町三丁目15番地区 【新規】

(2) 市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会などの自主的なまちづくり活動への助言・指導と補助金による支援

(3) 市街地再開発事業の地区整備方針等を示す市街地総合再生計画の改定

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,848,968 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 919,286 千円

・地方債 708,600 千円

・一般財源 221,082 千円

(前年度当初予算額 1,733,646 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部市街地整備課
担当者名	都市再開発担当課長 柳 徳見
電 話	内線 3651
	直通 086-803-1378

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 活力ある農業の振興

## 1 事業の趣旨

農業を継続できる環境づくりと競争力強化のため、担い手の確保・育成、農地の集積・集約による経営の効率化、岡山産農産物の販路開拓・拡大に向けた取り組み等を推進します。  
また、多様な農業の維持・拡大を図るため、生産基盤の確保・強化に取り組みます。

## 2 事業内容

### (1) きめ細やかな新規就農サポート体制の構築

新規就農者、UIJターン農業者に対し、農地、経営資金、技術等の課題を解決するための就農相談等による支援及び補助

### (2) 経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援

- ・生産拡大に向けた設備導入や省力化機械・施設等の整備に対する補助
- ・担い手への農地集積・集約化を加速するための支援及び補助

### (3) 販路開拓・拡大、ブランド化に向けた支援

- ・岡山産農産物の情報発信や販売促進活動を実施
- ・生産者団体等の販売促進経費に対する補助

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,175,371 千円

### (2) 財源内訳

- ・県支出金 1,111,802 千円
- ・その他 375 千円
- ・一般財源 63,194 千円

(前年度当初予算額 1,085,475 千円)

担当課名	産業観光局農林水産部農林水産課
担当者名	課長 小坂 正樹
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 農作物被害対策事業

## 1 事業の趣旨

イノシシ等有害鳥獣の出没範囲が広がり、農作物等の被害が拡大していることから、地域ぐるみで野生鳥獣が出没しにくい環境の整備を啓発するとともに、侵入防止柵の整備助成、捕獲柵(檻)の設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する奨励金の交付を行うことで、総合的な対策を図り、野生鳥獣による農作物等の被害の軽減を目指します。

## 2 事業内容

(1) 農作物被害防止柵の設置支援事業

(2) 捕獲推進対策補助金

狩猟免許の取得に係る経費や有害鳥獣駆除の活動団体に対する補助

(3) 有害鳥獣捕獲支援事業

(4) 有害鳥獣捕獲柵設置支援事業

(5) 鳥獣被害対策実施隊による被害対策活動(啓発活動、指導助言、応援等)

(6) 岡山市地域鳥獣被害防止対策協議会【拡充】

ICT等新技術検証、ジビエ等の利用拡大、小型金属検出機の導入

## 3 要求額

(1) 歳出額 88,248 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 30,910 千円

・一般財源 57,338 千円

(前年度当初予算額 84,900 千円)

担当課名	産業観光局農林水産部農林水産課
担当者名	課長 小坂 正樹
電 話	内線 4540
	直通 086-803-1346

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 日本遺産活用推進事業

## 1 事業の趣旨

日本遺産に認定されている古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説のストーリー及び構成文化財を活用し、国内外に魅力を発信し、地域の活性化を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 情報発信

歴史・文化に興味のある国内外の旅行者に向けた効果的な媒体を活用した広報活動

### (2) 普及啓発

- ・旅行商品造成のため、旅行会社やメディア等を招請したファムツアーを実施
- ・日本遺産のストーリーを題材にしたミュージカルの上演

### (3) 構成文化財の紹介

日本遺産のストーリーを伝える統一的な看板の設置

### (4) 造山古墳ビジターセンターの活用及びトイレ改修

### (5) 造山古墳墳丘上遊歩道等の整備

### (6) 史跡造山古墳保存整備

## 3 要求額

(1) 歳出額 256,760 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 106,674 千円
- ・地方債 41,200 千円
- ・その他 5,589 千円
- ・一般財源 103,297 千円

(前年度当初予算額 248,973 千円)

担当課名	観光振興課	プロモーション・MICE推進課
担当者名	課長 小川 祥子	課長 林原 瑞気
電 話	内線 4531	内線 4534
	直通 086-803-1332	直通 086-803-1333
担当課名	教育委員会事務局文化財課	
担当者名	課長 草原 孝典	
電 話	内線 3875	
	直通 086-803-1611	

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 観光案内所整備事業

## 1 事業の趣旨

観光客の利便性向上を図るため、岡山駅地下通路広場にあるももたろう観光センターと岡山駅2階の岡山市観光案内所を集約し、JR岡山駅新幹線改札口東側に移転します。

## 2 事業内容

観光案内所の整備及び移転に伴う案内板等の改修

- ・施設名称 岡山市ももたろう観光センター
- ・整備場所 JR岡山駅新幹線改札口東側

[整備期間 令和2年度] 供用開始 令和2年秋頃(予定)

## 3 要求額

(1)歳出額 74,498 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 17,585 千円
- ・一般財源 56,913 千円

(前年度当初予算額 3,900 千円)

担当課名	産業観光局商工観光部観光振興課
担当者名	課長 小川 祥子
電 話	内線 4531
	直通 086-803-1332

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域の未来づくり推進事業

## 1 事業の趣旨

合併地域などの中山間・周辺地域において、持続可能な地域づくりを目的に、コミュニティビジネスの創出など様々な地域課題の解決に取り組む地域内外のNPO法人や企業、地域住民等に対する支援を行います。

## 2 事業内容

### (1) 活動計画づくりへの支援や担い手の育成

- ・課題整理や体制づくりに関する支援
- ・専門家やアドバイザーの派遣
- ・地域おこしのスペシャリストによる講演
- ・コミュニティビジネスに必要な基礎知識等に関する講習

### (2) 地域の未来づくり推進事業補助金

- ・地域活力の創出や、生活機能・サービスの維持等の活動に対する補助

### (3) 地域活力創出事業補助金

- ・地域資源を活かした地域の活力創出に向けた事業の試作・試行に対する補助

## 3 要求額

(1) 歳出額 195,329 千円

### (2) 財源内訳

- ・その他 193,990 千円
- ・一般財源 1,339 千円

(前年度当初予算額 187,000 千円)

担当課名	政策局政策部事業政策課
担当者名	課長 藤井 健介
電 話	内線 3590
	直通 086-803-1042

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 移住・定住の促進

## 1 事業の趣旨

全国の自治体が様々な移住・定住支援を進める中、本市の魅力を発信するため、移住・定住希望者に対してワンストップでの相談・支援が行える取組の更なる充実を図ります。

また、県や連携中枢都市圏の市町等と連携・協力し、東京での移住相談会の開催やメディアを活用した移住・定住に関連する情報発信をすることで、圏域への移住・定住を促進します。

## 2 事業内容

- ・市主催による東京・大阪での移住相談会の実施
- ・移住下見ツアーの実施
- ・「おかやまぐらし移住の窓口」の活用
- ・移住支援に関する情報発信
- ・お試し住宅の提供(民間賃貸物件)
- ・企業面接に要する交通費補助
- ・東京圏からのUターン就職支援事業
- ・県主催の移住相談会へ出展
- ・日常的な相談対応

## 3 要求額

(1)歳出額 92,836 千円

### (2)財源内訳

- ・県支出金 36,600 千円
- ・その他 1,350 千円
- ・一般財源 54,886 千円

(前年度当初予算額 55,900 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部市民協働企画総務課
担当者名	移住定住支援担当課長 黄江 孝行
電 話	内線 3288
	直通 086-803-1335

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域おこし協力隊事業

## 1 事業の趣旨

人口減少・少子高齢化の進行により、特に中山間・周辺地域では、地域活動を中心的に担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から中山間・周辺地域等へ、地域活動を担う人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。

## 2 事業内容

- ・現在導入されている御津・建部・牧山・千種地域の地域おこし協力隊の活動を支援
- ・中山間地域等を中心に導入地域の拡大を検討

## 3 要求額

(1)歳出額	49,203 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	49,203 千円
(前年度当初予算額)	48,800 千円)

担当課名	政策局政策部事業政策課	北区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 藤井 健介	課長 河本 文一
電 話	内線 3590	内線 4190
	直通 086-803-1042	直通 086-803-1655
担当課名	東区役所総務・地域振興課	
担当者名	課長 浅沼 弓子	
電 話	内線 72-211	
	直通 086-944-5006	



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 土地利用の適正誘導

## 1 事業の趣旨

人口減少下でも住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、持続的に発展できる都市を目指すため、土地利用の適正誘導を通じて、「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」を推進します。

## 2 事業内容

本市の都市計画の基本方針を示す「岡山市都市計画マスタープラン」の高度化版として、居住及び都市機能の誘導を図る「立地適正化計画」を策定・公表する予定であることから、都市計画基礎調査の結果を基に、都心や拠点周辺の土地利用状況の精査を行うなど、具体的な土地利用の施策展開へ向けた調査・検討を実施

## 3 要求額

(1)歳出額 14,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 14,000 千円

(前年度当初予算額 14,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部都市計画課
担当者名	課長 内海 誠一郎
電 話	内線 3630
	直通 086-803-1371

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山西部総合公園(仮称)整備事業

## 1 事業の趣旨

岡山操車場跡地の「総合公園区域」について、市民が憩い、楽しむ、緑あふれる総合公園として、また、災害時には防災拠点となる防災公園として整備を行います。

## 2 事業内容

立体駐車場、集中備蓄倉庫及び管理棟の整備工事

[ 整備完了施設 多目的広場、イベント広場等 ]

[ 整備期間 平成26年度～令和4年度 ]

## 3 要求額

(1)歳出額 591,156 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 211,600 千円

・地方債 285,600 千円

・一般財源 93,956 千円

(前年度当初予算額 1,630,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課
担当者名	課長 児子 憲人
電 話	内線 3681
	直通 086-803-1395

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域公共交通再編等の推進

## 1 事業の趣旨

現在の岡山市は、人口増加と自動車利用を前提とした低密度で分散した都市構造となっているため、中心市街地の活力が低下しており、郊外部では路線バスの減便や廃止など公共交通の衰退により日常生活に必要な移動手段が失われつつあります。

こうした中、「利便性の向上」と「経営の安定化」の両方の視点から、「持続可能な公共交通ネットワーク」を構築するために取りまとめる「地域公共交通網形成計画」をもとに、バス路線再編等を実現するため、「岡山市地域公共交通再編実施計画」を取りまとめ、計画に位置付けた施策の推進を図ります。

## 2 事業内容

地域公共交通再編実施計画の検討

## 3 要求額

(1)歳出額	43,500 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	20,000 千円
・一般財源	23,500 千円
(前年度当初予算額)	15,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 是友 修二
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 鉄道の利用環境改善(桃太郎線LRT化)

## 1 事業の趣旨

鉄道のLRT化、新駅設置、駅前広場整備などにより、鉄道の利用環境を向上させることで、自家用車から鉄道への転換を促し、過度なクルマ依存社会から、人や公共交通中心の社会への移行を目指します。

岡山市と総社市をつなぐ桃太郎線について、上記とともに周辺を含む沿線地域の活性化や観光振興を図ることを目的に、LRT化の検討を進めます。

## 2 事業内容

岡山市、総社市、JR西日本の三者が連携して取りまとめる基本計画及び整備計画(併用軌道区間等)を踏まえ、令和2年度は、併用軌道区間の都市計画手続きに必要な準備、及び、駅前広場・アクセス道路の設計等を実施

## 3 要求額

(1)歳出額 65,000 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 16,000 千円

・一般財源 49,000 千円

(前年度当初予算額 63,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 是友 修二
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 路面電車のネットワーク化

## 1 事業の趣旨

新しい文化芸術施設の整備等の土地利用の変化を踏まえ、中心市街地におけるさらなる移動の円滑化を図るため策定した「岡山市路面電車ネットワーク計画」に基づき、ネットワーク化に取り組めます。

## 2 事業内容

大雲寺前電停から西大寺町電停までの区間における都市計画法の手続きに必要な測量、道路・交差点の予備設計等を実施

## 3 要求額

(1)歳出額	30,000 千円
(2)財源内訳	
・国庫支出金	8,000 千円
・一般財源	22,000 千円
(前年度当初予算額	10,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 是友 修二
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新たな生活交通の確保事業

## 1 事業の趣旨

人口減少や高齢化が進行する中、公共交通が廃止されるなど公共交通不便地域が拡大しており、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっています。

本市では、公共交通不便地域において、新たな生活交通を確保するための取り組みに対する支援を行います。

## 2 事業内容

地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施する中で実際のニーズを把握し、運行改善を行いながら、本格運行を実施

(1) 本格運行 灘崎地域迫川地区、瀬戸地域千種地区

(2) 試験運行 津高地域馬屋上・野谷地区、牧石学区牧山地区、上道地域角山地区、上道地域城東台・草ヶ部地区

(3) 運行計画検討

## 3 要求額

(1) 歳出額 20,585 千円

(2) 財源内訳

・その他 2,000 千円

・一般財源 18,585 千円

(前年度当初予算額 11,000 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 是友 修二
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 自転車先進都市の推進

## 1 事業の趣旨

誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、平成24年8月に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、各種施策を推進していきます。

## 2 事業内容

### (1) 自転車走行空間整備事業

中心部の道路において、路線の状況に応じた自転車走行空間の整備等を実施

### (2) 自転車駐車場整備事業

用地確保が困難な中心市街地における駐輪場整備促進策として、民間駐輪場を整備する事業者に対し建設費の一部を補助

### (3) コミュニティサイクル事業

自転車やポートの必要な修繕等を行い、現在のサービス水準を維持しながら、継続運用を実施

### (4) 自転車ルール・マナー関係事業

放置自転車防止啓発指導や、自転車の交通ルール・マナー向上に向けた活動を実施

### (5) サイクリングロード事業

吉備路自転車道の利用促進のため、道路面標示を整備

## 3 要求額

(1) 歳出額 269,875 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 50,000 千円

・地方債 45,000 千円

・一般財源 174,875 千円

(前年度当初予算額 252,303 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部交通政策課
担当者名	課長 是友 修二
電 話	内線 3620
	直通 086-803-1376

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 道路ネットワークの充実・強化

## 1 事業の趣旨

中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消、交通混雑の緩和に資する外環状道路・中環状道路の整備や、企業立地・物流などの経済活動、観光コンベンションなどの広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化に引き続き重点的に取り組めます。

## 2 事業内容

### (1) 環状道路の整備

- ・中環状線 都市計画道路下中野平井線の旭川橋梁の橋脚工事等
- ・外環状線 主要地方道岡山玉野線の4車線化等

### (2) 広域交通網の整備

山陽自動車道吉備スマートインターチェンジの大型車対応、24時間化に向けた道路整備事業を本格化

## 3 要求額

(1) 歳出額 3,967,604 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 2,091,452 千円
- ・地方債 1,667,200 千円
- ・一般財源 208,952 千円

(前年度当初予算額 4,288,450 千円)

担当課名	都市整備局道路部道路計画課
担当者名	課長 加藤 孝志
電 話	内線 3640
	直通 086-803-1696



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 快適な住環境整備

## 1 事業の趣旨

「岡山市住生活基本計画」に基づき、少子高齢化に伴う居住ニーズの変化に対応した市営住宅の整備や住宅確保要配慮者の支援などを進めるとともに、「空家等対策計画」に基づき、所有者等による空家等の適正な管理に向けた自主的な取り組みを支援します。

## 2 事業内容

### (1) 北長瀬みずほ住座再生事業

市営住宅(214戸)の建替えと、民設・民営による併設保育施設の整備  
〔整備期間 平成29年度～令和2年度〕 供用開始 令和2年度

### (2) 団地の集約化等

岡山市営住宅等長寿命化計画に基づき、居住ニーズの変化に対応した団地の建替えや集約等による市営住宅の管理戸数の適正化

### (3) 空家等適正管理支援事業

空き家の適正管理や利活用を促すため、空家法に基づく特定空家等については除却や応急措置に対して、その他の空家等についてはリフォームや空き家診断に対して、所有者等の自主的な取り組みを支援

### (4) 空家等対策計画の見直し

空家等対策計画(計画期間 平成28年度～令和7年度)の中間評価、市の支援や取り組みの見直しのため、空き家の実態調査を実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 785,599 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 293,908 千円  
・県支出金 6,254 千円  
・地方債 275,100 千円  
・一般財源 210,337 千円

(前年度当初予算額 2,444,214 千円)

担当課名	住宅課	建築指導課
担当者名	課長 小野 勝正	空家対策推進担当課長 徳重 一成
電 話	内線 4660	内線 4617
	直通 086-803-1466	直通 086-803-1410

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 斎場整備事業

## 1 事業の趣旨

将来の火葬需要への対応や災害時等のリスク分散の観点などから、北区富吉での岡山北斎場整備に引き続き取り組みます。また、再整備後の旧東山斎場火葬棟の解体を行い、駐車場整備を行います。

## 2 事業内容

### (1) 岡山北斎場整備事業

令和3年度中の稼働に向けた本体整備

[整備期間 平成25年度～令和3年度] 供用開始 令和3年(予定)

### (2) 東山斎場再整備事業

- ・再整備後の旧東山斎場火葬棟の解体
- ・斎場利用者駐車場の整備及び関連する道路(交差点)改良

[整備期間 平成25年度～令和2年度]

## 3 要求額

(1) 歳出額 2,977,037 千円

### (2) 財源内訳

- ・地方債 2,659,600 千円
- ・一般財源 317,437 千円

(前年度当初予算額 610,062 千円)

担当課名	市民生活局市民生活部生活安全課
担当者名	斎場整備担当課長 青木 寛享
電 話	内線 3231
	直通 086-803-1467

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山城の魅力アップ

## 1 事業の趣旨

岡山城天守閣等について、平成30年度に行った展示構想の策定やバリアフリー化の検討結果を踏まえ、改修に向けた準備を進めるとともに、引き続き岡山城本丸と天守閣を一体的に管理し、歴史と観光の調和を図り、城としての魅力を高めていきます。

また、岡山後楽園等周辺施設との連携をさらに強化していきます。

## 2 事業内容

### (1) 岡山城の新たな活用による魅力アップ事業

- ・耐震補強、内装改修、バリアフリー化等の実施設計

[整備期間 令和3年度] 令和4年度 リニューアルオープン予定

- ・不明門の利活用による歴史講座、ワークショップ等の定期開催
- ・烏城公園(岡山城本丸内)の樹木景観管理計画の策定

### (2) 烏城公園(岡山城本丸)と天守閣の一体的な管理運営

### (3) 岡山後楽園・岡山城等連携

岡山後楽園と連携した事業や情報発信等を展開

### (4) 史跡岡山城跡保存整備

供腰掛跡休憩施設の整備と石垣修理の実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 230,030 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 35,878 千円
- ・地方債 97,200 千円
- ・一般財源 96,952 千円

(前年度当初予算額 164,294 千円)

担当課名	観光振興課	教育委員会事務局文化財課
担当者名	課長 小川 祥子	課長 草原 孝典
電 話	内線 4531	内線 3875
	直通 086-803-1332	直通 086-803-1611

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山芸術創造劇場(仮称)の整備

## 1 事業の趣旨

岡山市民会館及び岡山市立市民文化ホールは、築後数十年が経過し、建物設備の老朽化、バリアフリー化未対応、耐震化の未実施などの課題を抱えています。両施設とも、市民にとって必要不可欠な施設であることから、現在、将来に亘って市民のニーズに応えることのできる「岡山芸術創造劇場(仮称)」の整備に向けた検討を進めております。

新劇場の整備により、本市の文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たな賑わいの創出につなげます。

## 2 事業内容

- (1) 再開発事業により整備を進めている新劇場の建設に係る各種調整や進捗状況の把握  
〔整備期間 平成28年度～令和4年度〕
- (2) 新劇場の開館に向けて管理方法の検討やプレ事業の実施  
開館予定 令和4年度

## 3 要求額

- |           |               |
|-----------|---------------|
| (1) 歳出額   | 7,325,940 千円  |
| (2) 財源内訳  |               |
| ・地方債      | 6,464,600 千円  |
| ・一般財源     | 861,340 千円    |
| (前年度当初予算額 | 2,086,281 千円) |

担当課名	市民生活局スポーツ文化部文化振興課
担当者名	芸術創造劇場開設担当課長 岡本 浩司
電 話	内線 3749
	直通 086-803-1054

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 トップチーム支援事業

## 1 事業の趣旨

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフーズ岡山)は、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となる力を持つことに鑑み、その存在がより幅広く市民に浸透していくよう、トップチームへの支援を実施します。

## 2 事業内容

- (1) ホームゲームのうち、年に1ゲームを「岡山市民デー(岡山市サンクスマッチ)」とし、各種イベントを実施
- (2) 「岡山市民デー」開催にあたり、岡山市への転入者を対象とした特別招待を実施
- (3) トップチームの選手が、市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施
- (4) 観戦者が各トップチームのホームゲームを回遊するスタンプラリー企画を実施【新規】
- (5) 岡山シーガルズのユニフォームに「岡山市」のロゴの掲載  
(ホームゲーム開催時)
- (6) トップチームへの練習環境向上支援

## 3 要求額

- |          |           |
|----------|-----------|
| (1) 歳出額  | 12,494 千円 |
| (2) 財源内訳 |           |
| ・一般財源    | 12,494 千円 |

(前年度当初予算額 7,000 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ文化部スポーツ振興課
担当者名	課長 船守 秀樹
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1614

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 2020年東京オリンピック・パラリンピック等の推進

## 1 事業の趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、各国代表チームの事前キャンプを誘致することで、スポーツ振興、シティプロモーション、交流人口の拡大を目指します。

また、ブルガリア共和国をホストタウン相手国として、交流計画に基づく事業を展開し、スポーツの振興、文化教育の向上及び共生社会の実現を図るほか、2020年東京オリンピック聖火リレーなどの関連イベントを実施します。

## 2 事業内容

(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ受け入れの実施

(2) ホストタウン事業の展開

・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ブルガリア共和国を相手国としたホストタウン計画に基づく交流事業の実施

・ブルガリア共和国ゆかりの人や、日本人オリンピック・パラリンピアン等との交流イベントを通じた応援機運の醸成や、交流の促進

(3) 2020年東京オリンピック聖火リレーや2020年東京パラリンピック聖火フェスティバルなどの関連イベントの実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 48,337 千円

(2) 財源内訳

・国庫支出金 1,353 千円

・県支出金 4,000 千円

・一般財源 42,984 千円

(前年度当初予算額 29,000 千円)

担当課名	市民生活局スポーツ文化部スポーツ振興課
担当者名	課長 舩守 秀樹
電 話	内線 4740
	直通 086-803-1614

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 子育て環境の施設整備推進事業

## 1 事業の趣旨

幼稚園と保育所を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。また、私立保育所等の新設整備等を実施する事業者に対し、施設整備の補助金を交付します。

## 2 事業内容

### (1) 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進

- ・令和2年度認定こども園整備対象園  
妹尾認定こども園(仮称) 他5園
- ・市立施設の民営化に伴う施設整備に対する補助対象園  
古都認定こども園(仮称) 他2園

### (2) 私立保育所の施設整備補助

- ・整備施設数 私立保育所 (新設)4ヶ所、(老朽改修)6ヶ所
- ・保育定員増数 371人分

## 3 要求額

(1) 歳出額 3,898,977 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 1,526,886 千円
- ・県支出金 289,865 千円
- ・地方債 1,742,200 千円
- ・一般財源 340,026 千円

(前年度当初予算額 3,914,200 千円)

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育部こども園推進課
担当者名	課長 田中 哲也
電 話	内線 4730
	直通 086-803-1430

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 保育士確保対策

## 1 事業の趣旨

待機児童の解消及び保育の質の向上のため、喫緊の課題である保育士の確保を推進します。

## 2 事業内容

### ・民間保育士等処遇改善事業【拡充】

令和元年度までの事業としていた市独自の取組である保育士等の処遇改善事業を継続し、平均約2%の賃金改善をさらに1%程度上乗せ

### ・保育支援者配置助成事業

事項要求

### ・登録保育施設運営費助成事業

事項要求

### ・私立幼稚園支援事業

事項要求

## 3 要求額

(1)歳出額	324,562 千円
(2)財源内訳	
・一般財源	324,562 千円
(前年度当初予算額	334,700 千円)

※民間保育士等処遇改善を除く保育士確保策については事項要求につき、要求額には含まない。

担当課名	岡山っ子育成局保育・幼児教育部保育・幼児教育課
担当者名	課長 山崎 桂司
電 話	内線 4720
	直通 086-803-1228



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 子育て環境の充実 新規

## 1 事業の趣旨

幼児教育・保育ニーズの増加や多様な幼児教育・保育に対応するため、子育て環境の充実を図ります。

## 2 事業内容

(1) 国制度で無償化の対象とならない施設等を利用する子どもに対し、施設利用料の一部を補助

- ・認可外保育施設を利用する3歳から5歳までの教育要件の子ども
- ・私立幼稚園を利用する子どものうち、在籍園の預かり保育以外の施設を利用する保育要件の子ども

(2) 市立幼稚園における3歳児教育の拡充

市立幼稚園6園で、新たに3歳児教育を実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 33,036 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 33,036 千円

(前年度当初予算額 - 千円)

担当課名	就園管理課	幼保運営課
担当者名	課長 山本 泰弘	課長 疋田 洋一
電 話	内線 3670	内線 4710
	直通 086-803-1431	直通 086-803-1225

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 放課後児童健全育成事業

## 1 事業の趣旨

保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。

## 2 事業内容

(1) 市立の放課後児童クラブに位置付けたクラブの持続的かつ安定的な運営【新規】

対象クラブ数 22クラブ

(2) 地域主体で実施する児童クラブの質の改善の推進

- ・開所時間、開所日数の延長、障害児の受け入れ推進
- ・支援員の配置や賃金改善に要する費用の補助

(3) 児童クラブ施設の量の確保

希望するすべての児童を受け入れるため、必要な施設の整備を推進

## 3 要求額

(1) 歳出額 2,282,625 千円

(2) 財源内訳

- ・国庫支出金 736,309 千円
- ・県支出金 604,424 千円
- ・地方債 75,600 千円
- ・その他 191,692 千円
- ・一般財源 674,600 千円

(前年度当初予算額 1,941,558 千円)

担当課名	岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課
担当者名	放課後児童対策担当課長 岩田 修
電 話	内線 4758
	直通 086-803-1589

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 困難を抱える子どもとその家庭への支援

## 1 事業の趣旨

子どもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 社会的養護拡充事業

児童養護施設等の環境改善、人材確保及び職員の資質の向上を図り、児童の自立支援、在宅での育児支援など施設の多機能化、高機能化を推進

### (2) 岡山市奨学金給付事業

事項要求

### (3) 就学援助費等支給事業

事項要求

## 3 要求額

(1) 歳出額	59,977 千円
(2) 財源内訳	
・国庫支出金	29,388 千円
・一般財源	30,589 千円
(前年度当初予算額)	640,750 千円)

※社会的養護拡充事業を除く支援策については事項要求につき、要求額には含まない。

担当課名	こども福祉課	教育委員会事務局就学課
担当者名	課長 大谷 哲子	課長 東谷 徹
電 話	内線 4780	内線 3880
	直通 086-803-1221	直通 086-803-1587

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 児童虐待防止の推進 新規

## 1 事業の趣旨

児童虐待防止の観点から、体罰によらない子育てを推進するため、保護者支援プログラムの導入を行うとともに、児童相談所の機能強化を行います。また、養育支援が必要と判断した家庭に対して、養育支援を実施します。

## 2 事業内容

### (1) 保護者支援プログラムの導入

児童虐待事例に対し、医学的・心理学的知見に基づいた治療プログラムによる保護者支援を実施し、虐待の再発防止、親子関係の再統合を推進

### (2) 児童相談所機能の強化

虐待の重篤化のリスク回避を図るため、外部の専門機関から助言を受け、複雑化する虐待ケースへの的確な対応を実施

### (3) 養育支援の実施

養育環境の改善、家庭の養育力の向上を図るため、生活環境等が不適切な養育状態にあるなど、虐待のおそれがある家庭に対して養育支援ヘルパーが訪問

## 3 要求額

(1) 歳出額 11,032 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 4,844 千円
- ・県支出金 1,344 千円
- ・一般財源 4,844 千円

(前年度当初予算額 - 千円)

担当課名	こども福祉課	こども総合相談所
担当者名	課長 大谷 哲子	所長 江田 始男
電 話	内線 4780	内線 5592
	直通 086-803-1221	直通 086-803-2525

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 女性が輝くまちづくり事業

## 1 事業の趣旨

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別等にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

## 2 事業内容

(1) 企業を対象とした、女性活躍の重要性をテーマとしたシンポジウムの開催、及び女性活躍取組事例紹介

(2) 認証企業制度等の普及啓発

(3) 市内企業で働く女性活躍プログラム

・女性社員が管理的立場で活躍することへの意識付けとスキルを学ぶキャリアアップセミナーの開催

・女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関心をもつ企業のニーズに柔軟に対応できる講師派遣セミナーの開催

(4) 女性の再就職支援講座の開催

(5) 男性の経営トップや管理職層を対象としたセミナーの開催

(6) 大学生を対象とした、管理職をめざすことも含め仕事と生活を両立しながら能力を発揮しようとする意識形成を支援するための出前講座の開催

## 3 要求額

(1) 歳出額 13,040 千円

(2) 財源内訳

・一般財源 13,040 千円

(前年度当初予算額 14,760 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 岩井 美千子
電 話	内線 3735
	直通 086-803-1115

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

## 1 事業の趣旨

大学生の人口比率が高い岡山市の強みをいかして、大学生が、若者ならではの柔軟な発想と行動力の下、新たな商品やサービス等の開発を目指すスモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組みを支援します。

また、「学生イノベーションチャレンジ推進コンソーシアム」を通じて活動を支援しながら、学生への魅力を高め、学生に選ばれるまちを目指します。

## 2 事業内容

### (1) 学生イノベーションチャレンジ推進事業

スモールビジネス・ソーシャルビジネスへのチャレンジに係る費用に対する補助

- ・学生ジョイントグループ部門(複数大学の学生からなるグループ)
- ・学生ソログループ部門(単一大学の学生からなるグループ)

### (2) 専門コーディネータによる各活動における相談支援

## 3 要求額

(1) 歳出額 9,000 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 4,500 千円
- ・一般財源 4,500 千円

(前年度当初予算額 7,200 千円)

担当課名	政策局政策部政策企画課
担当者名	地方創生・政策調整担当課長 折口 範昭
電 話	内線 3584
	直通 086-803-1043

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 学力向上・魅力ある授業づくり推進事業

## 1 事業の趣旨

学力調査等の結果を効果的に活用するなど、子どもたちの主体的で深い学びの実現に向けて、よりよい授業づくりを進めるとともに、教育環境の整備を行うことで確かな学力の育成を目指します。

## 2 事業内容

### (1) 学力向上推進プロジェクト

- ・学力アセスの結果分析の活用による教員の授業改善や児童生徒の学習改善
- ・学力・学習状況調査の活用による授業改善、家庭学習取組の充実
- ・学習支援ソフトを活用した家庭学習等の支援

### (2) 新学習指導要領実施に伴うICTを活用した教育の推進

- ・普通教室等におけるICTを活用した各教科の授業の実施
- ・ICT活用研究校における授業研究の実施

### (3) 英語教育推進事業

- ・小学校の外国語・外国語活動や中学校の外国語の授業への外国語指導助手の派遣
- ・英語教師を対象とした英語指導力向上のための研修プログラムを実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 495,930 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 495,930 千円

(前年度当初予算額 285,400 千円)

担当課名	教育委員会事務局指導課	教育研究研修センター
担当者名	課長 松岡 和俊	所長 藤原 陽子
電 話	内線 3840	直通 086-944-7255
	直通 086-803-1590	

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

## 1 事業の趣旨

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、支援を必要とする児童生徒やその保護者に対して、相談や援助を行います。

## 2 事業内容

### (1) 共に成長しあう学級集団づくり推進事業

学校生活への適応感を質問紙を用いて把握し、学級づくりに活用

### (2) 特別支援教育支援員配置事業

障害のある児童生徒の学校生活をサポートするために、学習・移動支援などを実施

### (3) 就学相談員派遣事業

再任用教員の就学相談員を学校等へ派遣し、一人ひとりの子どもに合った就学相談を実施

### (4) 不登校児童生徒支援員配置事業

不登校の未然防止を図るため、通学支援や別室登校の児童生徒の支援を実施

### (5) スクールカウンセラー配置事業

いじめ、暴力行為、不登校などの課題に対して児童生徒や保護者が相談しやすい体制の充実

## 3 要求額

(1) 歳出額 465,529 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 41,940 千円

・一般財源 423,589 千円

(前年度当初予算額 427,400 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校教育部指導課
担当者名	教育支援担当課長 渡邊 裕一
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 適応指導教室整備事業

## 1 事業の趣旨

不登校及びその傾向のある児童生徒の学校復帰を目指して、教育相談及び様々な体験活動や学習支援等の指導を行う適応指導教室を各区ごとに整備します。

## 2 事業内容

南区において、中央卸売市場に暫定的に設置している南部適応指導教室の平福コミュニティハウスとの複合化による移転整備

〔整備期間 令和元年度～令和2年度〕 令和3年度開設予定

(参考)適応指導教室の整備状況

- ・トラングルー宮
- ・ラポート牧山
- ・あおぞら操山
- ・すまいる瀬戸
- ・南部適応指導教室

## 3 要求額

(1)歳出額 107,569 千円

(2)財源内訳

- ・国庫支出金 28,459 千円
- ・地方債 69,300 千円
- ・一般財源 9,810 千円

(前年度当初予算額 53,100 千円)

担当課名	教育委員会事務局学校教育部指導課
担当者名	教育支援担当課長 渡邊 裕一
電 話	内線 3840
	直通 086-803-1592

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 山南義務教育学校(仮称)整備事業 **新規**

## 1 事業の趣旨

児童生徒の減少により全ての小中学校が、学級数6以下の「過小規模校」となっている山南中学校区の4小学校及び中学校を統合し、新たに義務教育学校を設立することで、学校規模の適正化、特色ある教育による教育環境の向上を図ります。

## 2 事業内容

現山南中学校において、既存校舎の大規模改修及び新校舎の増築工事を実施

[整備期間 令和元年度～令和3年度] 令和4年度開校予定

## 3 要求額

(1)歳出額 926,900 千円

(2)財源内訳

・地方債 825,100 千円

・一般財源 101,800 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育委員会事務局教育総務部学校施設課
担当者名	課長 板野 正博
電 話	内線 3807
	直通 086-803-1576

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 小中学校エレベーター整備事業 **新規**

## 1 事業の趣旨

岡山市ユニバーサルデザイン・共生社会推進基本方針に基づき、学校施設における移動支援のため、ストレッチャーが搭乗可能なエレベーターを整備します。

## 2 事業内容

- (1) 豊小学校、竜操中学校にストレッチャーが搭乗可能なエレベーターを各1基整備  
[整備期間 令和元年度～令和2年度] 令和2年度供用開始予定
- (2) 西大寺中学校にエレベーターを整備するための設計を実施  
[整備期間 令和2年度～令和3年度] 令和3年度供用開始予定

## 3 要求額

- (1) 歳出額 105,325 千円
- (2) 財源内訳
- ・国庫支出金 13,448 千円
  - ・地方債 23,800 千円
  - ・一般財源 68,077 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育委員会事務局教育総務部学校施設課
担当者名	課長 板野 正博
電 話	内線 3807
	直通 086-803-1576

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 公民館整備・耐震化事業

## 1 事業の趣旨

「岡山市有建築物の耐震化計画指針」に基づき、耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない公民館の整備及び公民館分館の耐震化を実施します。

## 2 事業内容

### (1) 上道公民館建設事業

上道公民館を上道地域センターとの複合化により移転整備

[整備期間 令和元年度～令和3年度] 令和4年度開館予定

### (2) 公民館分館耐震改修事業

耐震診断結果に基づき、木造の建物で倒壊の危険性があり緊急性を要する公民館分館4館の耐震改修工事を実施

・対象 浜川原分館、久保東分館、中野分館、乙多見分館

## 3 要求額

(1) 歳出額 273,614 千円

### (2) 財源内訳

・地方債 243,000 千円

・一般財源 30,614 千円

(前年度当初予算額 294,580 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課
担当者名	課長 湊田 裕之
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1606

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕

夜間教室運営事業

新規

## 1 事業の趣旨

不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した者などを対象に、学びの場として夜間教室を開設し、義務教育課程の内容について学習支援を行います。

## 2 事業内容

### (1) 対象者

岡山市在住または在勤の義務教育年齢を経過した以下の者

- ・戦中戦後の混乱期に義務教育を修了しないまま学齢期を経過した者
- ・不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した者
- ・外国籍の方で本国等で十分な教育を受けていない者

### (2) 場所

トラングル一宮、あおぞら操山

### (3) 時間

毎月 第1第3金曜日 18:00～20:30

## 3 要求額

(1) 歳出額 3,304 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 3,304 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課
担当者名	課長 湊田 裕之
電 話	内線 3860
	直通 086-803-1606

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業

## 1 事業の趣旨

持続可能な社会づくりを目指し、市域全体におけるSDGsの理解促進と新たな実践行動に繋げていくため、関連組織等と連携して、SDGsの学びの場や機会を設けます。また、ESDの啓発活動や情報発信、ESD活動団体の支援などにより、ESD活動の拡大と質の向上に取り組み、ESDを推進することでSDGsの達成に貢献します。

## 2 事業内容

### (1) SDGs未来都市推進事業

- ・「未来わくわくフェスタ」(SDGs普及啓発イベント)の実施
- ・「SDGs達成に向けたESD国際会議」の実施
- ・「SDGsフォーラム」の実施

### (2) 岡山ESDプロジェクト推進事業

- ・おかやまESDなびによる情報発信(HPや番組の制作・放送)
- ・関係省庁やユネスコ、国内外のRCEとの連携・交流
- ・岡山ESDプロジェクト参加団体の活動に対する補助
- ・ESDコーディネーター養成研修の実施
- ・ESDフォーラム、ESD岡山アワードの実施
- ・持続可能な社会づくりの担い手を育成するための学生向けインターンシップの実施
- ・岡山連携中枢都市圏に係るESD研修会の実施 等

## 3 要求額

(1) 歳出額 35,238 千円

### (2) 財源内訳

- ・県支出金 2,500 千円
- ・一般財源 32,738 千円

(前年度当初予算額 34,930 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部ESD推進課
担当者名	課長 小川 卓志
電 話	内線 3761
	直通 086-803-1351

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 区まちづくり独自企画事業

## 1 事業の趣旨

身近なまちづくりや地域課題の解決に取り組むために、それぞれの区の地域資源や特色を活かして、各区のまちづくりを推進します。

## 2 事業内容

### (1) 北区役所

北区の地域を歩くウォーキング大会(仮称)実施

### (2) 中区役所

- ・地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業
- ・中区防災力強化事業

### (3) 東区役所

東区うまいもの発掘・創出事業

### (4) 南区役所

南区地域防災力強化事業

## 3 要求額

(1) 歳出額 10,000 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 10,000 千円

(前年度当初予算額 10,000 千円)

担当課名	北区役所総務・地域振興課	中区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 河本 文一	課長 谷杉 典子
電 話	内線 4190	内線 71-212
	直通 086-803-1655	直通 086-901-1601
担当課名	東区役所総務・地域振興課	南区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 浅沼 弓子	課長 石原 加恵
電 話	内線 72-211	内線 73-310
	直通 086-944-5006	直通 086-902-3500

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 岡山市・グアム準州友好交流都市締結10周年記念事業 新規

## 1 事業の趣旨

岡山市とアメリカ・グアム準州は平成22年8月に友好協定を締結して以来、親善訪問団の派遣や中高生のホームステイによる相互派遣などの様々な交流を行ってきました。令和2年に10周年の節目を迎えることから、記念事業として、グアム準州からの訪問団の受け入れやグアム準州を紹介するパネル展を開催し、10年にわたる交流の足跡を振り返るとともに、これらの事業を契機として今後の継続的な交流の促進を図ります。

## 2 事業内容

### (1)グアム準州公式訪問団の受入

- ・歓迎レセプション
- ・岡山市内視察
- ・市民交流など

### (2)グアム・パネル展の開催

グアム準州の紹介など

## 3 要求額

- (1)歳出額 1,386 千円
- (2)財源内訳
- ・その他 1,386 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民協働局市民協働部国際課
担当者名	課長 竹林 靖哲
電 話	内線 3250
	直通 086-803-1112



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地域共生社会の推進

## 1 事業の趣旨

個人や世帯が介護、障害、子育て、生活困窮など複雑化・複合化した課題を抱えた場合でも、「たらい回し」されることなく、市の関係課・相談機関が連動し適切な支援を受けることができるよう、総合的な相談支援体制づくりを推進し、地域共生社会の実現を目指します。

## 2 事業内容

### (1) 総合相談支援体制づくりの推進【拡充】

個人や世帯が抱える複雑・複合課題に対応するため、現在配置している相談支援包括化推進員を増員し、医療と暮らし(福祉)、就労など一人ひとりや世帯が抱える課題に対応した総合的かつ、きめ細やかな支援を実施

### (2) 要配慮者向け一時的な住まいの強化・充実【拡充】

- ・住まいを失った生活困窮者が一時的に入居できる施設の確保
- ・DV被害者のための民間シェルターへの補助

## 3 要求額

(1) 歳出額 64,201 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 44,244 千円
- ・一般財源 19,957 千円

(前年度当初予算額 51,906 千円)

担当課名	保健福祉企画総務課	生活保護・自立支援課	女性が輝くまちづくり推進課
担当者名	課長 花房 明彦	課長 松岡 高志	課長 岩井 美千子
電 話	内線 5806	内線 5940	内線 3735
	直通 086-803-1204	直通 086-803-1349	直通 086-803-1115

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 老人福祉施設整備事業

## 1 事業の趣旨

特別養護老人ホームにおける待機者縮小のため、地域密着型特別養護老人ホームの整備に係る経費を助成します。

また、広域型特別養護老人ホームの老朽化に伴い、改築に係る経費を助成します。

## 2 事業内容

(1) 地域密着型特別養護老人ホームの創設整備及び開設準備に係る経費に対する補助

(2) 老朽化した広域型特別養護老人ホームの改築及び開設準備に係る経費に対する補助【新規】

## 3 要求額

(1) 歳出額 592,151 千円

(2) 財源内訳

・県支出金 238,151 千円

・地方債 318,600 千円

・一般財源 35,400 千円

(前年度当初予算額 184,130 千円)

担当課名	保健福祉局高齢福祉部高齢者福祉課
担当者名	課長 森峰 清
電 話	内線 5960
	直通 086-803-1230

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 障害者就労支援事業

## 1 事業の趣旨

障害者の自立と社会参加の重要な柱となる就労に向けて、障害者がその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、福祉、雇用、教育等の各分野との連携を図りながら一般就労と職場への定着を支援するとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。

## 2 事業内容

### (1) 障害者一般就労支援事業

- ・障害者を雇用する企業、職場実習の受入企業の開拓
- ・福祉施設から一般就労への移行支援
- ・障害者就職面接会開催
- ・就労支援セミナー等の開催、企業交流会等の開催

### (2) 障害者一般就労定着支援事業

- ・働く障害者のための交流拠点事業
- ・障害者職場定着支援活動費の補助

### (3) 障害者工賃向上支援事業

- ・障害者就労支援施設商品ブラッシュアップ事業
- ・工賃向上支援アドバイザー派遣事業
- ・障害者就労支援施設工賃レベルアップ事業
- ・販路拡大、売上向上に向けた商談会事業

## 3 要求額

(1) 歳出額 22,752 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 2,980 千円
- ・県支出金 1,490 千円
- ・一般財源 18,282 千円

(前年度当初予算額 22,000 千円)

担当課名	保健福祉局障害・生活福祉部障害福祉課
担当者名	課長 土井 利典
電 話	内線 5730
	直通 086-803-1234

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 不育症治療費助成事業 **新規**

## 1 事業の趣旨

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の一環として、不育症<sup>\*</sup>と認められる夫婦が安心して子どもを産み育てることができるよう、不育症の検査・治療にかかる費用の一部に対する助成を行います。

※不育症…妊娠はするが、2回以上の流産・死産もしくは早期新生児死亡により子どもが得られない場合を指します。

## 2 事業内容

不育症と認められる夫婦であって、不育症の検査・治療にかかる費用の一部を補助

## 3 要求額

(1)歳出額 5,430 千円

(2)財源内訳

・一般財源 5,430 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部保健管理課
担当者名	課長 渡邊 清治
電 話	内線 5750
	直通 086-803-1251

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 健康づくりと生涯活躍推進事業

## 1 事業の趣旨

「AIを活用した市民の将来疾病リスクの見える化」、「SIB<sup>※</sup>手法を活用したヘルスケア産業による生活習慣病対策サービスの創出と市民の利用促進、生涯活躍のための就労支援」を一体的に行うことで、“健康の好循環”を促進します。

※SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)・・・民間事業者が、出資・融資等の資金調達により事業実施し、事前に定めた成果指標の達成状況に応じて市が事業費を支出するもの。

## 2 事業内容

### (1) AIを活用した健康見える化事業・糖尿病肥満対策事業

- ・AIで国保の健診データを解析し、一人ひとりに適した具体的な生活習慣改善メニューの提示と保健指導を実施
- ・糖尿病肥満対策事業では、肥満を伴う糖尿病患者に対し、生活改善指導プログラムを作成
- ・令和2年度は、生活習慣改善メニューやプログラムの改良を図り、保健指導を継続実施

### (2) SIBを活用した健康ポイント事業(おかやまケンコー大作戦)

- ・市民の健康づくり活動の習慣化を促進するため「運動」「栄養・食生活」「社会参加」に関するサービスを提供し、各サービスの取り組みに応じて特典と交換
- ・令和2年度は、前年度の成果を受け、新たな生活習慣改善メニューの開発・提供

### (3) SIBを活用した生涯活躍就労支援事業

- ・民間就労支援機関、社会福祉協議会、NPO等を通じた高齢者等の就労等支援
- ・令和2年度は、利用者の拡大を図るとともに、雇用先企業の開拓・充実を継続実施

[期間 平成30年度～令和4年度]

## 3 要求額

(1)歳出額 166,588 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 68,294 千円
- ・その他 30,000 千円
- ・一般財源 68,294 千円

(前年度当初予算額 198,548 千円)

担当課名	国保年金課	保健管理課	地域包括ケア推進課
担当者名	課長 角 宏一	課長 渡邊 清治	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5970	内線 5750	内線 5980
	直通 803-1136	直通 803-1250	直通 803-1246

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 フレイル対策事業

## 1 事業の趣旨

おおむね65歳以上の高齢者を対象に、薬局やまちの保健室など地域の身近な場所でフレイルチェック(心身の虚弱度のチェック)を実施し、専門職によるアドバイス・指導や介護予防の取組み先につなぐことで、高齢者の健康寿命の延伸を目指します。

## 2 事業内容

- (1)メディア宣伝等による効果的・継続的なフレイルの周知・啓発
- (2)地域の薬局など身近な場所におけるフレイルチェックの機会の提供
- (3)理学療法士や管理栄養士等の専門職による個々の状態に応じた結果説明やアドバイス指導の実施
- (4)システムを活用した、身近でできる介護予防の取組み先(地域資源)の紹介【新規】
- (5)フレイルチェックを補助するサポーターを養成【新規】
- (6)チェックの結果データの集計、分析による介護予防事業への活用

## 3 要求額

(1)歳出額 10,597 千円

### (2)財源内訳

- ・国庫支出金 2,649 千円
- ・県支出金 1,325 千円
- ・その他 5,298 千円
- ・一般財源 1,325 千円

(前年度当初予算額 4,900 千円)

担当課名	保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
担当者名	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5980
	直通 086-803-1246

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 在宅介護総合特区推進事業

## 1 事業の趣旨

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

## 2 事業内容

### (1) デイサービス改善インセンティブ事業

デイサービスにおいて、利用者の状態の維持改善を図る事業所を表彰

### (2) 介護機器貸与モデル事業

在宅で生活する人の自立につながる介護機器を1割負担で貸与

### (3) 訪問介護インセンティブ事業

訪問介護において、利用者の状態の維持改善を図る事業所を表彰

### (4) 介護ロボット普及推進事業

介護事業所への介護ロボットの無償貸与による職員の負担軽減等を検証

### (5) 高齢者活躍推進事業【新規】

介護事業所における就労・社会参加活動の提供の制度化に向けた具体的事例づくり

## 3 要求額

(1) 歳出額 84,122 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 15,872 千円

・県支出金 37,936 千円

・その他 14,378 千円

・一般財源 15,936 千円

(前年度当初予算額 84,323 千円)

担当課名	医療政策推進課	事業者指導課
担当者名	課長 黒瀬 英昭	課長 松尾 隆道
電 話	内線 5820	内線 3087
	直通 086-803-1636	直通 086-803-1012

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 在宅医療介護連携推進事業

## 1 事業の趣旨

超高齢社会を迎え、市民が住みなれた地域で最期まで安心して暮らすことができるように、平成23年度から取り組んできた在宅医療・介護の推進に向けた取り組みをさらに発展させるとともに、安心を支える最適な地域医療システムを構築し、予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けられる仕組みをつくりまします。

## 2 事業内容

### (1) 在宅医療・介護サービス提供体制構築モデル事業【拡充】

モデル地区を拡大して、在宅医療・介護サービス体制構築モデル事業を実施

### (2) 医療的ケア児に関する医療連携事業【拡充】

令和元年度に構築した医療的ケア児における在宅医療提供体制の周知と、小児在宅医療に関する理解向上を図るための研修会の開催等

### (3) 在宅基盤整備(人材育成)

訪問診療、訪問看護、在宅介護対応薬局等の人材が増加するように研修等を実施

### (4) 在宅への流れの構築(多職種連携と情報共有促進)

病院の入退院における多職種連携ルールの周知と活用促進

### (5) 市民への普及啓発

市民の在宅医療・介護に対する理解向上のため、出前講座等を実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 50,695 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 8,548 千円

・県支出金 4,275 千円

・その他 5,107 千円

・一般財源 32,765 千円

(前年度当初予算額 48,700 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部医療政策推進課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 成年後見中核機関運営事業

## 1 事業の趣旨

誰もが地域で安心して生活ができる地域共生社会の実現を目指して、権利擁護を担う地域の関係機関・団体や家庭裁判所と連携し、成年後見が必要な人の制度利用を支援するための地域の中核的機関を設置し、運営します。

## 2 事業内容

### (1) 市民からの相談支援

随時の市民からの一般相談、定例の専門相談、家裁審判申立書等の作成支援

### (2) 後見受任調整

制度利用の検討、適切な支援内容・後見人候補者の検討

### (3) 後見人支援

- ・後見人等が開催する意思決定支援会議への参加
- ・市民後見人の活動支援、親族後見人等への相談支援

## 3 要求額

(1) 歳出額 23,678 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 534 千円
- ・一般財源 23,144 千円

(前年度当初予算額 9,600 千円)

担当課名	保健福祉局保健福祉部福祉援護課
担当者名	課長 河田 俊介
電 話	内線 5450
	直通 086-803-1216

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 小児遠隔健康医療相談事業

## 1 事業の趣旨

UHC<sup>※</sup>の実現や子どもの保護者の不安解消、時間外受診の削減と医療費の削減による市民・企業の負担軽減に向けて、遠隔健康医療相談を令和元年度に引き続き試行的に実施します。

※UHC(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)・・・

全ての人が適切な保健・医療サービスを、支払可能な費用で受けられる状態

## 2 事業内容

- (1) 0歳の子どもの保護者が、子どもの健康に関する不安や救急病院の受診の必要性などについて、平日の診療所等の外来診療時間が終わった後の時間帯(月～金曜のうち祝日を除いた日の18時～22時)に、スマートフォン等の通信機器を通して、小児科医に相談できる事業の実施
- (2) 救急医療の利用の適正化に向けた効果検証の実施

## 3 要求額

- |            |           |
|------------|-----------|
| (1)歳出額     | 9,578 千円  |
| (2)財源内訳    |           |
| ・一般財源      | 9,578 千円  |
| (前年度当初予算額) | 4,500 千円) |

担当課名	保健福祉局保健福祉部医療政策推進課
担当者名	課長 黒瀬 英昭
電 話	内線 5820
	直通 086-803-1636

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 生活支援サービス体制整備事業

## 1 事業の趣旨

高齢者の在宅生活を支えるために、地域ごとの支え合い体制と高齢者の社会参加を一体的に実現できる体制を構築していきます。

## 2 事業内容

- (1) 地域ごとの支え合い体制を構築するため、マッチング等のコーディネート業務を実施する第2層生活支援コーディネーターを中学校区をベースに配置【新規】
- (2) 生活支援コーディネーターが、生活支援・介護予防サービスの多様な提供主体等が参画する定期的な場(協議体)の設置等を支援するとともに、担い手の確保、育成や活動の創出等を推進

## 3 要求額

(1) 歳出額 119,444 千円

### (2) 財源内訳

- ・国庫支出金 45,986 千円
- ・県支出金 22,993 千円
- ・その他 27,472 千円
- ・一般財源 22,993 千円

(前年度当初予算額 53,600 千円)

担当課名	保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
担当者名	課長 岸川 和忠
電 話	内線 5980
	直通 086-803-1246

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 防災・減災対策事業

## 1 事業の趣旨

平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、自助・共助・公助の強化・充実のため、平時から市と市民が一体となった防災・減災対策に取り組めます。

## 2 事業内容

### (1) 自主防災組織等育成事業助成金

自主防災組織の結成に対する補助を継続するとともに、年間の防災活動に係る経費等に対する補助の実施により、自主防災活動組織の結成や活動活性化を促進

### (2) 防災まちづくり学校

受講目的・対象者に応じた7コースを開講し、地域での防災活動活性化をサポート

### (3) 防災士養成講座【拡充】

町内会役員や公民館職員等を対象とした養成講座の受講者数の拡充による、地域防災リーダー養成の推進

### (4) ハザードマップ更新及びマイ・タイムライン啓発事業【拡充】

- ・洪水・土砂災害、津波ハザードマップを市民目線で改訂
- ・自らの避難行動を示すマイ・タイムラインの普及啓発

## 3 要求額

(1) 歳出額 250,823 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 250,823 千円

(前年度当初予算額 371,166 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 岡村 誠
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道・河川による浸水対策事業

## 1 事業の趣旨

平成30年7月豪雨による広範囲の浸水被害を受け、平成31年4月に見直した岡山市浸水対策基本計画及び行動計画に基づいて、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組みます。

## 2 事業内容

### (1) 計画的な下水道施設・河川施設の整備

- ・ 今保・白石ポンプ場の詳細設計、建設工事 [整備期間 令和元年度～令和4年度]

- ・ 排水機場整備事業

植松地区:建設工事 [整備期間 令和元年度～令和2年度]

藤田錦地区:建設工事 [整備期間 令和2年度～令和3年度]

- ・ 浸水対策検討

横井排水区:流出解析及びシミュレーションの実施

津島排水区:雨水排水施設の既存能力を活用した有効な浸水対策の検討

### (2) 既存ストックの活用、機能保全強化

- ・ 排水機場の長寿命化計画について、詳細設計実施

- ・ 排水機場の監視管理カメラの設置

### (3) 市民・事業者の自助・共助の促進、意識啓発による地域防災の推進

- ・ 雨水流出抑制施設設置、雨水貯留タンク設置、止水板設置などに対する補助

- ・ 市民への土のう配布の実施

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,793,445 千円

### (2) 財源内訳

・ 国庫支出金 595,205 千円

・ 地方債 1,032,200 千円

・ 一般財源 166,040 千円

(前年度当初予算額 1,691,920 千円)

担当課名	下水道河川局下水道経営部下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1502

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 緊急情報伝達手段の整備事業

## 1 事業の趣旨

大規模自然災害が発生したときに、避難行動の遅れ等で多数の死傷者が発生しないよう、岡山市全体の緊急情報伝達のための通信機器の更新・機能強化を図ります。

## 2 事業内容

(1) システムの機器更新〔整備期間 令和元年度～令和3年度〕

- ・防災行政無線の機器更新等に係る実施設計
- ・緊急情報を伝達する統合卓の整備(システムの再構築)
- ・操作卓の更新
- ・防災行政無線(屋外スピーカーの受信機等)の更新

(2) 緊急告知ラジオの一般販売【新規】

市民一人ひとりへ迅速かつ確実に緊急情報を伝達できる環境を推進するため、緊急告知ラジオの一般販売制度を新設

## 3 要求額

(1) 歳出額 291,748 千円

(2) 財源内訳

- ・地方債 287,700 千円
- ・その他 800 千円
- ・一般財源 3,248 千円

(前年度当初予算額 156,800 千円)

担当課名	危機管理室
担当者名	危機管理担当課長 岡村 誠
電 話	内線 5850
	直通 086-803-1082

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 新庁舎整備事業

## 1 事業の趣旨

本庁舎は建設から約50年が経過し、耐震基準も満たしておらず、老朽化が進んでいます。災害対応の中心となる防災拠点として整備するだけでなく、より行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。

## 2 事業内容

令和2年度から令和3年度にかけて、新庁舎の基本設計及び実施設計を実施

[整備期間 令和2年度～令和7年度]

今後のスケジュール

令和4年度 鹿田町駐車場解体

令和4～7年度 新庁舎建設工事

令和8年度 新庁舎供用開始

## 3 要求額

(1)歳出額 388,719 千円

(2)財源内訳

・地方債 18,800 千円

・一般財源 369,919 千円

(前年度当初予算額 27,000 千円)

担当課名	総務局総務部庁舎管理課
担当者名	課長 田淵 康弘
電 話	内線 4420
	直通 086-803-1152

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 消防署所適正配置事業

## 1 事業の趣旨

増加する救急需要と多様化する各種災害に的確に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置、維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心で質の高い消防サービスを提供します。

## 2 事業内容

消防局総合計画(消防署所適正配置)に基づき、以下の消防署所の整備を行います。

(1) 中消防署旭東出張所を中区倉田地内に新築移転

令和2年度からの運用開始に伴う備品等の整備

(2) 南消防署を南区浦安南町地内に新築移転

整備工事の実施

[整備期間 令和2年度～令和3年度] 運用開始 令和4年度

## 3 要求額

(1) 歳出額 456,176 千円

(2) 財源内訳

・地方債 395,100 千円

・一般財源 61,076 千円

(前年度当初予算額 857,800 千円)

担当課名	消防局消防総務部消防企画総務課
担当者名	課長 上田 匡
電 話	内線 3770
	直通 086-234-9970



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 道路照明LED化事業 新規

## 1 事業の趣旨

岡山市が管理する道路照明灯は、大半が水銀灯やナトリウム灯などで、その多くが更新時期を迎えています。民間事業者の資金、技術力を活用し、従来型の照明を早期にLED化することにより、ランニングコスト、電気料金、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

## 2 事業内容

ESCO事業<sup>※</sup>によるLED化の検討および業者選定を実施(令和3年度以降にLED化実施予定)

※ESCO事業・・・道路照明をLED化することで得られる光熱水費等の削減分をもってLED灯への交換や維持管理に係る経費を賄う事業形態

## 3 要求額

(1)歳出額 20,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 20,000 千円

(前年度当初予算額 - 千円)

担当課名	都市整備局道路部道路港湾管理課
担当者名	課長 大林 弘明
電 話	内線 3660
	直通 086-803-1416

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 水道施設・管路耐震化等更新事業

## 1 事業の趣旨

水道水の安定供給にも寄与しつつ、南海トラフ巨大地震や近年頻発する風水害に備え、災害被害の極小化と最低限の給水確保を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 老朽化した管路の更新

・老朽管更新延長:26km

・半田山線(北区学南町～大供本町)の整備[整備期間 平成29年度～令和4年度]

### (2) 災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化

病院、学校へ至る路線の管路を更新・耐震化

### (3) 新規の給水申込等に伴う管路の整備

### (4) 水道施設の災害対策

旭東浄水場への発電機設置に係る基本設計[整備期間 令和2年度～令和5年度]

### (5) 浄水場・ポンプ場などの電気・機械設備の更新

三野浄水場脱水施設更新工事、第5配水ポンプ整備工事

[整備期間 令和2年度～令和5年度]

### (6) 岡山地区工業用水道施設及び管路の更新[整備期間 令和元年度～令和3年度]

### (7) 水道記念館(登録有形文化財)耐震補強工事[整備期間 令和2年度～令和3年度]

## 3 要求額

(1) 歳出額 8,305,835 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 39,900 千円

・地方債 1,500,000 千円

・その他 1,193,534 千円

・一般財源 5,572,401 千円

(前年度当初予算額 7,556,000 千円)

担当課名	水道局総務部経営管理課
担当者名	課長 上高 直樹
電 話	直通 086-234-5914

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業

## 1 事業の趣旨

市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止などを未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

## 2 事業内容

### (1) 南海トラフ巨大地震の発生に備え、地震対策の推進

老朽化した処理場・ポンプ場設備の更新及び建屋の耐震補強工事の実施  
対象施設: 岡南ポンプ場、旭西排水センター、岡東ポンプ場、岡東浄化センター

### (2) 大規模災害時の避難所等における災害用マンホールトイレ整備事業

災害時の避難所用トイレとして、マンホールトイレを石井、平井、西大寺、芳明小学校に設置

## 3 要求額

(1) 歳出額 2,612,268 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 829,420 千円

・地方債 1,645,000 千円

・一般財源 137,848 千円

(前年度当初予算額 3,139,153 千円)

担当課名	下水道河川局下水道経営部下水道河川計画課
担当者名	課長 山川 圭一
電 話	内線 4970
	直通 086-803-1502

## 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 救急業務ICTを活用した12誘導伝送

**新規**

### 1 事業の趣旨

救急業務ICTを活用し、生命危機が迫る急性心筋梗塞傷病者の予後の悪化を防止します。

### 2 事業内容

全救急隊へ救急現場から心電図画像の伝送可能な12誘導心電計の配備により、胸痛など心筋梗塞を疑う傷病者の早期治療、予後悪化を防止

### 3 要求額

(1)歳出額 11,693 千円

#### (2)財源内訳

・地方債 4,900 千円

・一般財源 6,793 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	消防局警防部救急課
担当者名	課長 鳥越 昭宏
電 話	内線 3778
	直通 086-234-9967

## 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 公園遊具安全対策事業 **新規**

### 1 事業の趣旨

都市公園における遊具の安全確保を図るため、遊具の安全に関する規準に適合するよう遊具の更新を行います。

### 2 事業内容

劣化が著しい遊具等の更新

### 3 要求額

(1)歳出額 183,700 千円

(2)財源内訳

・国庫支出金 91,850 千円

・地方債 82,600 千円

・一般財源 9,250 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課
担当者名	公園緑地担当課長 森谷 和政
電 話	内線 3680
	直通 086-803-1392

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 防犯カメラ設置支援事業

## 1 事業の趣旨

岡山市が推進している「安全で安心なまちづくり」実現のため、町内会等の各地域団体が設置する防犯カメラの設置費用について、この費用の一部を補助し、防犯カメラ設置を促進することにより、地域防犯活動の活性化を図ります。

## 2 事業内容

町内会等の住民団体への防犯カメラの購入(賃貸を含む)及び設置工事費等に要する経費に対する補助

## 3 要求額

(1)歳出額	34,208 千円
(2)財源内訳	
・県支出金	10,200 千円
・一般財源	24,008 千円
(前年度当初予算額)	16,297 千円)

担当課名	市民生活局市民生活部生活安全課
担当者名	課長 梶家 薫
電 話	内線 3230
	直通 086-803-1106

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 用水路等転落防止対策事業

## 1 事業の趣旨

岡山市内においては、これまでも市民が用水路等へ転落することによる死傷事故が度々発生しており、用水路転落に対する安全対策の実施が急務となっています。このような状況下、地元や警察とも連携し、用水路等の危険箇所に対する安全対策を集中的に実施し、市民の通行の安全性の向上を図ります。

## 2 事業内容

用水路危険箇所の安全対策工事の実施

[実施期間 平成28年度～令和4年度]

## 3 要求額

(1)歳出額 200,000 千円

(2)財源内訳

・一般財源 200,000 千円

(前年度当初予算額 192,000 千円)

担当課名	道路港湾管理課	農村整備課
担当者名	課長 大林 弘明	課長 松木 勝彦
電 話	内線 3660	内線 4570
	直通 086-803-1416	直通 086-803-1348

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 地球温暖化対策事業

## 1 事業の趣旨

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減を進め、気候変動を抑制しようとする従来の対策(緩和策)に加え、一定の気候変動の影響は避けられないものとして、今後その影響回避や予防を行う対策(適応策)が必要とされてきています。

岡山市においても、現行の岡山市環境基本計画及び岡山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の見直しを行い、適応策への取組を進めます。

## 2 事業内容

### (1) 岡山市環境基本計画及び岡山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定

平成28年度に見直しを行った現在の計画について、適応策についての検討や、社会情勢の変化、市民意見等を踏まえた見直しの実施

### (2) スマートエネルギー導入促進事業

低炭素社会の実現に向け、市内の住宅・事業所に対して、創エネ・省エネ・畜エネ機器の導入に対する補助

### (3) 環境保全行動推進事業

地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」のもとで、市民・事業者と連携し、ライトダウンキャンペーンやグリーンカンパニー活動など、環境にやさしいライフスタイルへの転換への取組を実施

### (4) 家庭ごみ有料指定袋へのバイオマスプラスチック導入 [新規]

家庭ごみ有料指定袋へ植物由来のバイオマスプラスチック(再生可能資源)を使用することにより、二酸化炭素排出量を削減

## 3 要求額

(1) 歳出額 424,397 千円

### (2) 財源内訳

・県支出金 20,839 千円

・その他 3,300 千円

・一般財源 400,258 千円

(前年度当初予算額 280,712 千円)

担当課名	環境保全課	環境事業課
担当者名	課長 森安 章浩	課長 見平 孝行
電 話	内線 3990	内線 3970
	直通 086-803-1282	直通 086-803-1297



# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 ごみ処理広域化対策事業

## 1 事業の趣旨

玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となり広域的なごみ焼却施設の建設を進めます。

岡山ブロック(岡山市・玉野市・久米南町)ごみ処理広域化基本計画、岡山ブロックで事務の委託に関する協定を踏まえ、令和8年度末施設稼働を目指します。

## 2 事業内容

### (1) 内容

可燃ごみ広域処理施設の整備に向けて、地元説明、生活環境影響調査、広域処理施設整備事業者選定業務等を実施

### (2) 建設候補地

岡山市南区豊成一丁目4-1

### (3) 期間

平成26年度～令和8年度

### (4) 実施主体

岡山市(玉野市、久米南町から事務を受託)

## 3 要求額

(1) 歳出額 39,709 千円

### (2) 財源内訳

・国庫支出金 8,641 千円

・その他 10,226 千円

・一般財源 20,842 千円

(前年度当初予算額 69,300 千円)

担当課名	環境局環境施設部環境施設課
担当者名	課長 福林 繁
電 話	内線 3980
	直通 086-803-1311

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 スプレー缶処理安全対策事業

**新規**

## 1 事業の趣旨

現在、スプレー缶は中身を使い切った上で、穴を開けて、資源化物の空き缶として排出することとしています。専用コンテナでの収集と処理設備の導入により、市民によるスプレー缶等の排出を穴開け不要とし、穴開け時の引火事故を防ぎ、市民の安全を確保します。

## 2 事業内容

- ・穴の開いていないスプレー缶を安全に処理する設備の整備
- ・排出方法の変更に伴うごみパンフレットの全戸配布等による周知・啓発

## 3 要求額

(1)歳出額 190,359 千円

(2)財源内訳

- ・地方債 96,300 千円
- ・一般財源 94,059 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	環境事業課	環境施設課
担当者名	課長 見平 孝行	課長 福林 繁
電 話	内線 3970	内線 3980
	直通 086-803-1297	直通 086-803-1311

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 瀬戸内4県都市連携推進事業

## 1 事業の趣旨

瀬戸内4県の県都である岡山市、広島市、高松市及び松山市が「瀬戸内」というブランドイメージで一体的につながり、互いの長所をいかして相乗効果を発揮することにより、瀬戸内地域の活性化を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 共同事業の実施

近年、瀬戸内に対しての関心が高まっている欧米に向けたプロモーション活動等を4市が連携して実施

### (2) 「瀬戸内4県都市長会議」の開催

4市での連携した取組について協議する場として、4市が持ち回りで開催している「瀬戸内4県都市長会議」を、シンポジウム形式により岡山市で開催

## 3 要求額

(1) 歳出額 6,415 千円

### (2) 財源内訳

・一般財源 6,415 千円

(前年度当初予算額 1,176 千円)

担当課名	政策企画課	プロモーション・MICE推進課
担当者名	大都市・広域行政担当課長 植月 静志	課長 林原 瑞気
電 話	内線 3585	内線 4534
	直通 086-803-1043	直通 086-803-1333

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市民サービス拠点の整備

## 1 事業の趣旨

市民サービスの拠点となる支所・地域センター等について、地域のまちづくりや防災の拠点として持続的なサービスが提供できるよう、市有施設等との複合化や現地建替え、耐震改修などにより、効率・効果的な整備を進めます。

## 2 事業内容

### (1) 地域センター整備事業

- ・ 公民館との併設・複合化による整備  
一宮地域センター、上道地域センター
- ・ 現地建替えによる整備  
興除地域センター、児島地域センター

### (2) 市民サービス拠点整備事業

- ・ 旧耐震基準で建築された支所・地域センター等の耐震改修  
御津支所、建部支所、瀬戸支所  
津高地域センター、妹尾地域センター、古都市民サービスセンター

## 3 要求額

(1) 歳出額 1,176,788 千円

### (2) 財源内訳

- ・ 地方債 1,036,900 千円
- ・ 一般財源 139,888 千円

(前年度当初予算額 120,000 千円)

担当課名	区政推進課	北区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 竹本 泉造	課長 河本 文一
電 話	内線 3750	内線 4190
	直通 086-803-1033	直通 086-803-1655
担当課名	東区役所総務・地域振興課	南区役所総務・地域振興課
担当者名	課長 浅沼 弓子	課長 石原 加恵
電 話	内線 72-211	内線 73-310
	直通 086-944-5006	直通 086-902-3500

# 令和2年度当初予算主要事業要求資料

〔事務事業名〕 市民サービス窓口業務改善事業 新規

## 1 事業の趣旨

区役所市民保険年金課窓口における「住民異動関係事務」に関連し、特に繁忙期に生じている待ち時間の縮減等を図るため、業務の自動化(RPA)を視野に入れた市民サービス窓口業務の見直し(BPR)を実施します。

## 2 事業内容

- ・市民サービス窓口における一連の業務フローを総点検し、課題を抽出
- ・事務量やコストの見直し等のため、改善効果が高いと考えられるポイントの絞り込みや、RPA等の導入の可能性について検討

## 3 要求額

- (1)歳出額 30,000 千円
- (2)財源内訳
- ・一般財源 30,000 千円

(前年度当初予算額 ー 千円)

担当課名	市民生活局市民生活部区政推進課
担当者名	課長 竹本 泉造
電 話	内線 3750
	直通 086-803-1033